

令和5年度 総合教育会議

今後の不登校対策の 方向性について

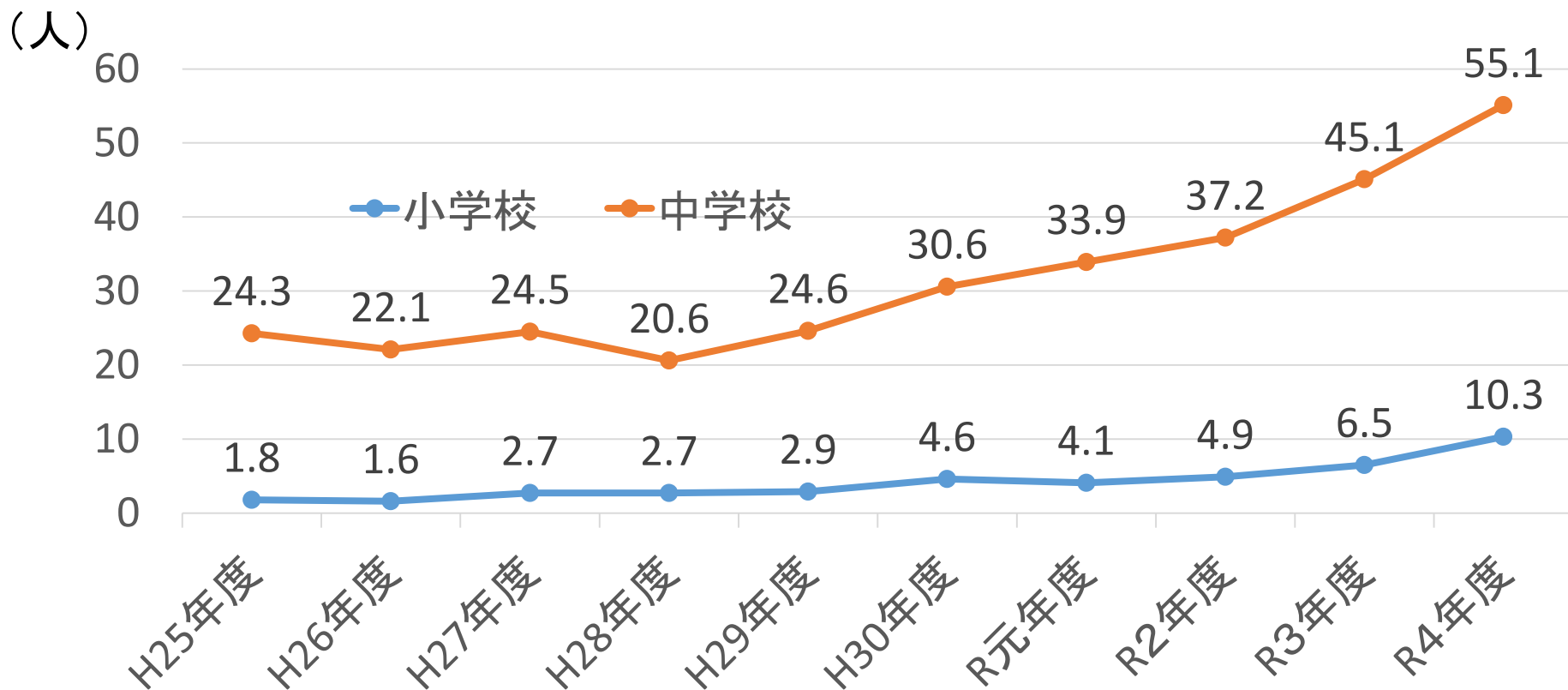
令和6年1月29日

目 次

- 1 当市の不登校児童生徒の状況
- 2 不登校対策の現状
- 3 当市の具体的な取組
 - (1) 校内支援
 - (2) 校外相談支援
 - (3) 多様な学びの場の確保
 - (4) 関係機関との連携
- 4 各取組の成果と課題
- 5 不登校対策の国の動向
- 6 今後の方向性について

1 当市の不登校児童生徒の状況

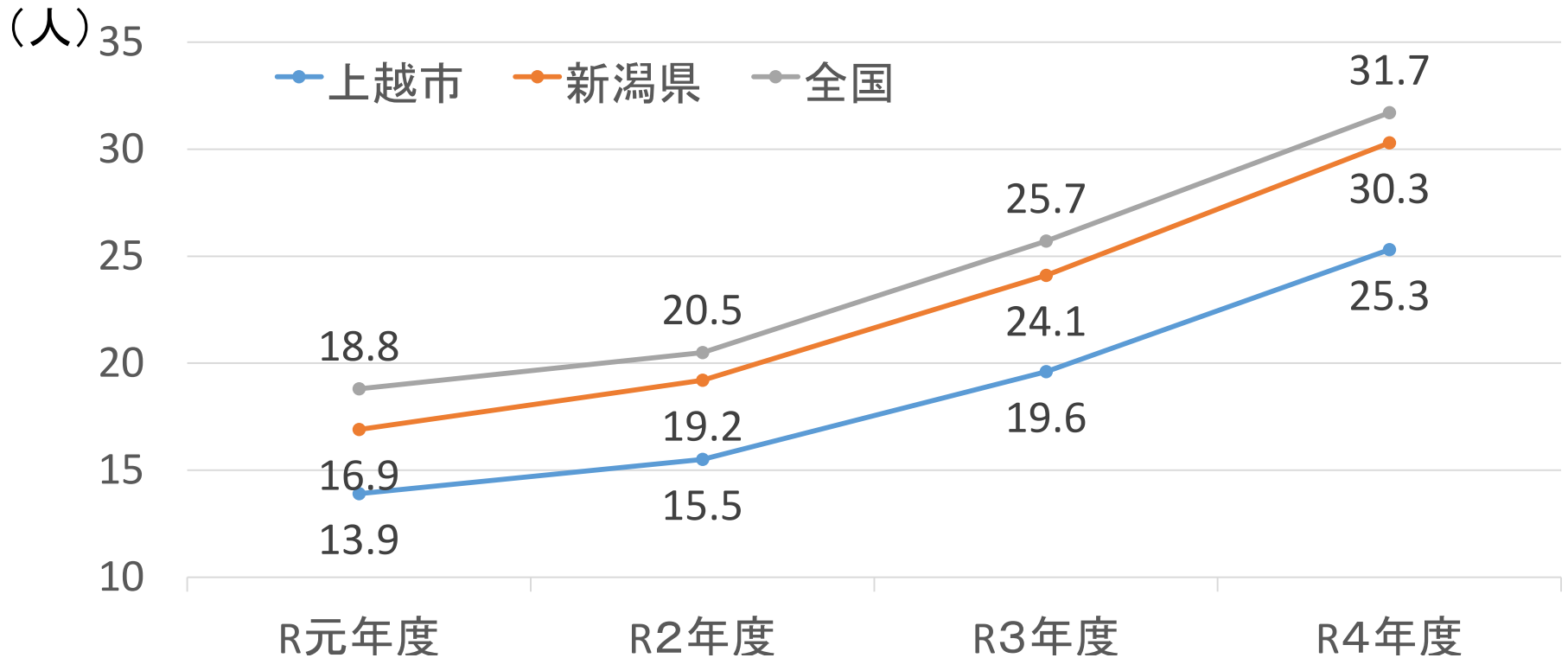
市の小・中学校の1000人あたりの不登校児童生徒数の推移



○令和4年度不登校児童生徒数 中学校 239人 小学校89人
 ○令和4年度は過去最多。

1 当市の不登校児童生徒の状況

1000人あたりの不登校児童生徒数の推移(小中合計)



○全国、県と推移の傾向は同様。年々、増加している。

1 当市の不登校児童生徒の状況

不登校の要因

全国

文科省 R4生徒指導上の諸課題に関する調査結果

要因		割合(%)
学校	いじめを除く友人関係をめぐる問題	9.2
	学業の不振	4.9
家庭	親子の関わり方	7.4
	家庭の生活環境の急激な変化	2.6
本人	無気力、不安	51.8
	生活リズムの乱れあそび、非行	11.4

上越市

R5年度から要因を調査
R5年11月までの結果

要因	割合(%)
学校	3.4
家庭	5.2
本人	90.5

○不登校の要因としては、本人に起因するものが多いが…？

1 当市の不登校児童生徒の状況

不登校の要因は「本人」が多い。

※その多くは「無気力・不安」であるが、
本人の背景をしっかりと探る必要がある。

＜背景を探ることで真の要因が見える＞

家庭の問題 ・ ・ 親子関係、家族環境

友人の問題 ・ ・ いじめ、グループ化

学校の問題 ・ ・ 担任との関係、学習への不安

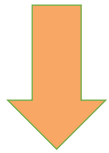
本人の特性 ・ ・ コミュニケーションや集団生活への困難さ

学校訪問カウンセラー、来所相談、電話相談の相談内容から

2 不登校対策の現状

目指す姿

児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、
社会的に自立すること



「不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方」
(令和5年11月17日付初等中等教育局長通知)

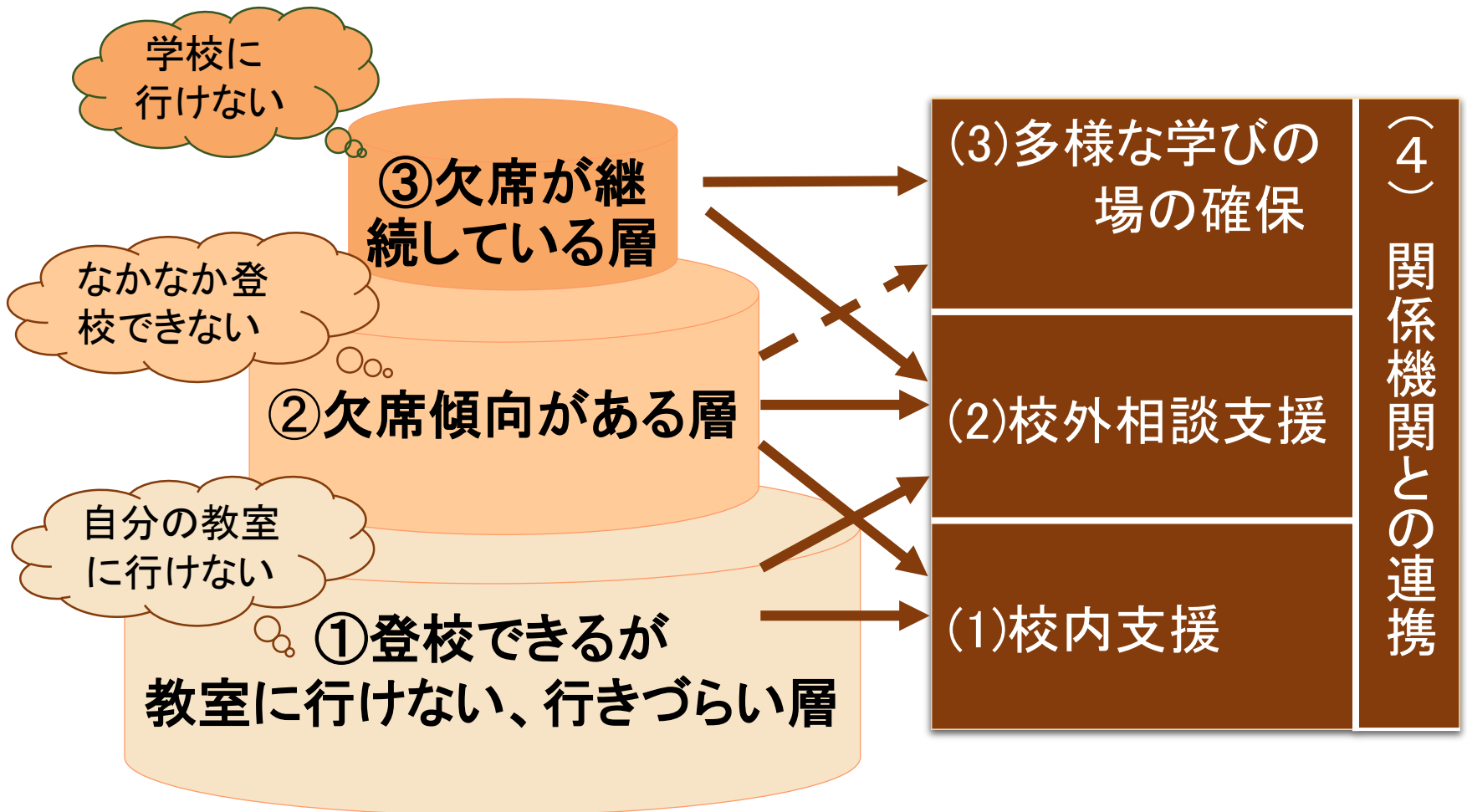
取組

学びたいと思った時に学べる環境の整備
など

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策
「COCOLOプラン」
(令和5年3月31日付初等中等教育局長通知)

2 不登校対策の現状

不登校児童生徒の社会的自立を目指すために



3 当市の具体的な取組

(1) 校内支援	(2) 校外相談支援	(3) 多様な学びの場の確保
①教育相談体制 (学校訪問カウンセラー)	①JAST (じょうえつあんしんサポートチーム)	①教育支援室未来サポートCoCoMo
②別室での指導 (校内適応指導教室)	②対面相談、メール・電話相談 (子どもほっとライン)	②フリースクールとの連携 (やすづか学園等)
③ICTを活用した学習支援	(このセルは対角線によって空欄)	③【研究中】 学びの多様化学校
(4) 関係機関の連携		

3 当市の具体的な取組

(1) 校内支援

<p>① 校内教育相談体制</p>	<ul style="list-style-type: none">・担任や養護教諭など校内の教職員との相談・学校訪問カウンセラーによる児童や保護者との相談
<p>② 別室での指導 (校内適応指導教室) ※学校ごとに名称は様々</p>	<ul style="list-style-type: none">・校内の別室に学びの場、居場所の確保時差登校、放課後登校ICTを活用した学習支援
<p>③ ICTを活用した 学習支援</p>	<ul style="list-style-type: none">・GIGA端末による学びの保障オンラインによる授業配信オンライン学習システムの活用等

3 当市の具体的な取組

(1) 校内支援

<p>① 校内教育相談体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や養護教諭など校内の教職員との相談 ・学校訪問カウンセラーによる児童や保護者との相談
<p>② 別室での指導 (校内適応指導教室) ※学校ごとに名称は様々</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の別室に学びの場、居場所の確保 時差登校、放課後登校 ICTを活用した学習支援
<p>③ ICTを活用した 学習支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA端末による学びの保障 オンラインによる授業配信 オンライン学習システムの活用等

3 当市の具体的な取組

(2) 校外相談支援

<p>① JAST (じょうえつあんしんサポート チーム)</p>	<ul style="list-style-type: none">・学校だけでは解決が困難なケースに対し、学校が主体となって対応できるよう、専門家チームによる支援を実施 指導主事(生徒指導、特別支援教育) 臨床心理士、スクールソーシャルワーカー 学校訪問カウンセラー
<p>② 来所相談、メール 相談、電話相談</p>	<ul style="list-style-type: none">・面談による相談ときめ細かな支援 教育相談所(教育プラザ、高田、直江津)・24時間対応のメールや電話相談 「子どもほっとライン」

3 当市の具体的な取組

(3) 多様な学びの場の確保

<p>① 教育支援室子ども未来 サポートCoCoMo</p>	<p>・自立心や集団生活への適応力など学校復帰をはじめとした社会的自立を目指して支援している。</p>
<p>② フリースクールとの連携</p>	<p>やすづか学園や民間施設(フリースクール)が、社会性の育成や学びの場となっている。 ※在籍校の出席や成績へ反映 ※フリースクール等利用支援補助金制度(教育総務課)</p>
<p>③ 【研究中】 学びの多様化学校</p>	<p>次のページへ</p>

3 当市の具体的な取組

(3) 多様な学びの場の確保

<p>① 教育支援室子ども未来 サポートCoCoMo</p>	<p>・自立心や集団生活への適応力など学校復帰をはじめとした社会的自立を目指して支援している。</p>
<p>② フリースクールとの連携</p>	<p>やすづか学園や民間施設(フリースクール)が、社会性の育成や学びの場となっている。 ※在籍校の出席や成績へ反映 ※フリースクール等利用支援補助金制度(教育総務課)</p>
<p>③ 【研究中】 学びの多様化学校</p>	<p>次のページへ</p>

3 当市の具体的な取組

(3) 多様な学びの場の確保

<p>② フリースクールとの連携</p>	
<p>③ 【研究中】 学びの多様化学校 (不登校特例校)</p>	<p>先進校の視察やニーズ調査の実施 ・学校教育法第1条の規定に基づく学校 ・特別の教育課程を編成して教育を実施可能 年間授業時数の削減 始業時間の工夫 行事の削減 少人数 など</p>

3 当市の具体的な取組

(4) 関係機関との連携

連携のイメージ

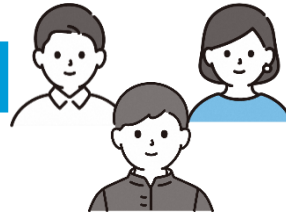
教育委員会所管

相談支援機関



学校

担任、特別新教育コーディネーター、養護教諭
スクールカウンセラー等



本人・保護者

相互に
連携

相互に
連携

教育センター相談室(南・北・中央)

子ども未来サポートCoCoMo南・北

JAST

学校訪問カウンセラー

FIT (青少年健全育成センター)

やすづか学園

居場所

民間フリー
スクール

上越市親の会
(青少年健全育成センター)

すこやかなくらし包括支援センター

こども発達支援センター

こども政策課

多文化共生課

上越教育事務所

上越児童相談所

少年サポートセンター

4 各取組の成果と課題

(1) 校内支援	(2) 校外相談支援	(3) 多様な学びの場の確保
①教育相談体制 (学校訪問カウンセラー)	①JAST (じょうえつあんしんサポートチーム)	①教育支援室未来サポートCoCoMo
②別室での指導 (校内適応指導教室)	②対面相談、メール・電話相談 (子どもほっとライン)	②フリースクールとの連携 (やすづか学園等)
③ICTを活用した学習支援	(A diagonal line is drawn across this cell from the bottom-left corner to the top-right corner.)	③【研究中】 学びの多様化学校
<h3>(4) 関係機関の連携</h3>		

4 各取組の成果と課題

(1) 校内支援

① 校内教育相談体制

成果	<p>○児童生徒にとって相談しやすい体制を確立し、本人への関わりを強化し、未然防止や早期対応が可能</p> <p>【学校訪問カウンセラー相談件数】</p> <p>令和3年度1,523件 令和4年度1,677件</p>
課題	<p>○教職員が多忙で、児童生徒の「話したい」「聞いてもらいたい」への対応が不十分</p> <p>→相談体制の充実</p>

4 各取組の成果と課題

(1) 校内支援

② 別室での指導(校内適応指導教室)

成果

- 学校に通えているという自信
- 学びの場
- 【別室を利用した学校】 (11月末現在)
小学校10校 中学校13校 利用者92人

課題

- 対応する教職員の確保が困難
- 中学校6校に配置の生徒指導支援員の増員のニーズ
- 相談体制の充実、多様な学びの場

4 各取組の成果と課題

(1) 校内支援

③ ICTを活用した学習支援

成
果

- 授業配信で学びの保障
- 本人に合った個別の課題選択

課
題

- 一斉学習のビデオ配信は一方通行に陥りがち
 - 個別最適な学びにするためのAIドリルの提供 など
- 多様な学びの場

4 各取組の成果と課題

(2) 校外相談支援

① JAST（じょうえつあんしんサポートチーム）

成果

- 学校の負担軽減
- 困難で複雑な背景に対し、専門職による支援の必要性に対応

【JAST相談受理件数】

令和3年度124件 令和4年度111件

課題

- 保護者の学校に対する意識の変化や過度の期待による不登校への対応が困難

→ 相談体制の充実

4 各取組の成果と課題

(2) 校外相談支援

② 来所相談、メール・電話相談

成果

○多様な相談体制が児童生徒、保護者のニーズに対応

【電話相談】令和3年度130件、令和4年度137件

【教育センター来所相談】令和4年度83件

課題

○来所相談では、困難な状況への対応

○夜のメール・電話相談の増加

○匿名の相談への対応

→相談体制の充実

4 各取組の成果と課題

(3) 多様な学びの場の確保

① 教育支援室子ども未来サポート

CoCoMo北・南

成果

- 児童生徒の学びのニーズに応える場
 - 自ら居場所や学びの場として選択
- 【CoCoMo利用人数】(11月末現在)
- CoCoMo北 28人 CoCoMo南 21人

課題

- 立地や交通の便によって利用できない児童生徒がいる。
- 居場所づくり

4 各取組の成果と課題

(3) 多様な学びの場の確保

② フリースクールとの連携(やすづか学園等)

<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境を生かした体験学習の充実 ○学びたいをサポート ○自己肯定感の高揚 <p>【やすづか学園の利用者】令和4年度 26人在籍</p>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に則った学習の提供 ○立地や交通による利用の不便さ <p>→多様な学びの場</p>

4 各取組の成果と課題

(3) 多様な学びの場の確保

③ 【研究中】 学びの多様化学校 (不登校特例校)

成果

- 先進校の視察やニーズ調査の実施
- 学校システムの課題の顕在化

課題

- 学校風土の「見える化」で、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする
- 学校の一つの形としての学びの多様化学校の設置の検討
→多様な学びの場

4 各取組の成果と課題

(4) 関係機関との連携

成果	<ul style="list-style-type: none">○ケース会議により、多方面からの情報を基に様々な支援の方策を提供○居場所の選択肢が広がり、本人が自らの意思で学ぶ場を決定
課題	<ul style="list-style-type: none">○フリースクール等関係者間の連携○家庭への啓発、相談支援の充実○外国につながる児童生徒への十分な支援 など <p>→相談体制の充実、多様な学びの場</p>

5 不登校対策の国の動向

目指す姿

児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立すること



「不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方」
(令和5年11月17日付初等中等教育局長通知)

取組

- 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える。
- 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する。
- 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする。

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策
「COCOLOプラン」
(令和5年3月31日付初等中等教育局長通知)

6 今後の取組の方向性

市の取組として

1 相談体制の充実

児童生徒の実態に寄り添った支援をするための相談体制の充実

2 多様な学びの場、居場所づくり

学びたいと思った時に学べる多様な場や居場所づくりの推進